令和７年度事業報告概要

近年は、緊迫した世界情勢に端を発した物価高騰が長期化する中で私たちの日常は先行き不透明な状況が続きました。

とくに、家族や地域社会の在り方が多様に変化したことで、少子・高齢化とともに地域においては孤立やひきこもり、日常生活への必要な支援が行き届かないために深刻な生活問題・困窮といった課題のある方々の存在が顕在化するようになりました。

こうした社会情勢から今年度におきましては、羽曳野市地域福祉活動計画推進委員会を主体とし、令和８年度からの５か年計画として**「第５期羽曳野市地域福祉活動計画」**を、市の計画である「第５期羽曳野市地域福祉計画」と一体的に策定することができました。

『一人ひとりの想いをつなぎ 結びあう地域づくり』を理念として、新たに**２つの重点目標の具体的な取組（たのしくらぶプロジェクト・困りごとキャッチし隊）**を設定し、地域のつながりの希薄化などを背景とした社会的孤立の問題に対応するためそれぞれの目標ごとに具体的な取組みを計画・推進してまいります。

さらに、初めての試みとして市内 14 校区において校区の特性を活かした福祉活動を推進するため、校区福祉委員が中心となり令和８年度からの５か年計画として「校区福祉委員会活動計画」（アクションプラン）を策定することができました。今後も、地域とともに、住民一人ひとりの暮らしと生きがいを創り、さらに災害などの緊急時には互いに助け合える「地域共生社会」の実現をめざします。

令和７年度福祉事業の主な取り組みは次のとおりです。

〇「重層的支援体制整備事業」は相談支援体制として、重層コーディネーターが属性を問わず世帯の課題やニーズを把握し必要に応じて支援機関等が連携し支援を進める「包括的相談支援事業」、多様な社会参加の実現を目指す「参加支援事業」、居場所を整備する「地域づくり事業」 を地域内の多機関と連携しながら実施しました。相談者一人ひとりに寄り添い、地域住民の複合化した支援ニーズに対応した支援を行いました。

〇コロナ特例貸付フォローアップ支援事業は、借受人が新たな生活困窮に陥らないよう、フォローアップ支援を行い、償還に関する対応や付随する生活相談について、市民に寄り添いきめ細かくサポートを実施しました。

〇個別支援活動では、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の行う総合福祉相談や生活困窮者自立支援相談をはじめ、本会のこども園、保育園で行っているスマイルサポーター事業により、相談者が抱える個別の課題解決に向けて支援しました。

〇在宅福祉活動では、訪問介護事業、居宅介護支援事業において、サービス利用者の方々に安心し利用していただけるように徹底した感染予防対策を行い、「そこに大切なあなたがいる」の理念のもと、利用者やご家族に寄り添った介護事業を行いました。

〇募金活動等の推進では、例年継続して行っております日本赤十字社の活動資金、共同募金、歳末たすけあい運動募金や**献血推進事業**にも取り組み、多くの皆さまからご支援・ご協力をいただく事が出来ました。

〇こども園、保育園事業では「あおぞらこども園」・「ベビーハウス社協」の運営は、安全で安心な園を目指し、地域の子育て支援の拠点として、育児相談、園庭開放、緊急一時保育（ベビーハウス社協のみ）などを実施し、地域の皆様から信頼され、親しまれる園運営を行いました。

本年度から移行した**「幼保連携型認定こども園あおぞらこども園」**は、教育・保育について多様化する社会ニーズに対応し、地域において小学校就学前までの子どもに対する教育・保育並びに保護者に対する子育て支援を行いました。

当会の自主事業の貴重な活動財源となります「寄付金」や「地域福祉活動協力金」「組織構成会員会費」は、多くの皆様からのあたたかいご理解とご協力をいただきました。

以上のとおり各種受託事業をはじめ、自主事業においても、健全な運営を行う事が出来ました。

次に、事業ごとの取り組み内容は別紙のとおりです。

令　和　7　年　度　事　業　報　告

■　役員会議

・理事会

開催年月日	開　催　場　所	審　　議　　事　　項	出席者数
令和7年5月23日	保健センター 4階大会議室	令和６年度事業報告について 令和６年度収支決算について 定款の一部改正(案)について 理事・監事候補者の選任（案）について 評議員候補者の選任（案）について 評議員選任・解任委員の選任（案）について	１０人
令和7年6月9日	保健センター 4階大会議室	会長・副会長の選出について 顧問の委嘱について	１４人
令和7年10月	書面開催 (決議の省略)	理事候補者の選任（案）について	１４人
令和7年12月	書面開催 (決議の省略)	理事候補者の選任（案）について 評議員候補者の選任（案）について 副会長の選任（案）について	１５人
令和8年2月25日	羽曳野市役所 A棟2階 中・東会議室	令和８年度事業計画及び予算（案）について 役員等賠償責任保険契約の内容（案）について	１１人
令和8年3月	書面開催 (決議の省略)	理事候補者の選任（案）について 常務理事候補者の選任（案）について	１４人

・評議員会

開催年月日	開　催　場　所	審　　議　　事　　項	出席者数
令和7年6月9日	保健センター 4階大会議室	令和６年度事業報告について 令和６年度収支決算について 定款の一部変更(案)について 理事・監事候補者の選任（案）について	２２人
令和7年10月	書面開催 (決議の省略)	理事候補者の選任（案）について	２６人
令和7年12月	書面開催 (決議の省略)	理事候補者の選任（案）について	２６人
令和8年3月5日	羽曳野市役所 A棟2階 中・東会議室	令和８年度事業計画及び予算（案）について	１９人

・監事監査

開催年月日	開　催　場　所	審　　議　　事　　項	出席者数
令和７年５月 13 日	羽曳野市役所 ３階特別会議室	令和６年度監査	２人

・評議員選任・解任委員会

開催年月日	開　催　場　所	審　　議　　事　　項	出席者数
令和７年４月	書面開催	評議員の選任（案）について	５人
令和７年５月 28 日	羽曳野市役所 ３階特別会議室	評議員の選任（案）について	４人
令和７年 12 月	書面開催	評議員の選任（案）について	５人

■　組織強化

自主財源となる福祉基金の積み上げと地域福祉活動協力金の拡大を図りました。

・寄付金（令和８年３月 31 日現在）

令和７年度　１，６８４，２５０円

・地域福祉活動協力金

地域福祉活動やボランティア活動の推進など市民参加・参画の中で福祉サービスを充実させるためにご協力をお願いしました。

ご協力いただいた額の半額は、各校区福祉委員会の活動資金として配分させていただきました。

３，７６５，９３８円

・組織構成会員会費

より広く住民に開かれた組織としての基盤を整えるために市内の団体などを対象にご協力をお願いしました。

１９２,０００円

■　社会福祉啓発活動

・機関紙の発行等

名　　称	発行回数	発　行　月　等	備　　考
社協だより	年４回発行	５月・８月・１０月・１月	市内全戸配布
はびきのボランティアだより	年４回発行	６月・９月・１２月・３月	ボランティア登録者・登録グループ、公共施設、市内教育機関、市内福祉施設配布
市広報はびきの	年１２回発行	毎月	市内全戸配布
ホームページ	―――	随時更新　　http://www.hasyakyo.net/	
介護保険事業連だより	年１回発行	不定期	加盟事業所配布 ・ケアマネ部会　・在宅部会 ・施設部会　・地域密着部会 ・地域活動部会

■　地域福祉活動

・校区福祉委員会連絡会事業

校区福祉委員会の役員に、小地域ネットワーク活動についての研修会を実施、校区福祉委員の指導・育成に努めました。

開催日	内　　容	場　　所
令和７年６月２６日（木）	校区福祉委員会連絡会 「今、あなたにできることが、今、地域に必要なこと」	市役所別館２階研修室
令和７年１１月１３日（木）	校区福祉委員会連絡会 「人種や文化の壁を越えて支え合う関係づくり・地域づくり」	市役所別館２階研修室
令和８年１月２９日（木）	小地域ネットワーク活動リーダー研修 「ともに描き、ともに動く―協働で進める小地域活動」	大阪国際交流センター

・校区担当による福祉委員会支援

各小学校区に校区担当職員を配置し、福祉委員会の実施事業や会議等へ参加しました。
地域の課題やニーズに応じた、事務的支援や相談を随時行い、福祉委員会活動の地域福祉推進に繋げました。

・地域交流事業

校区福祉委員会が、地域特性を活かしたふれあいの事業を実施することにより、地域内の交流を深めることができ地域福祉の増進に寄与しました。

校区名		各事業の実施箇所数（単位：箇所）						小地域ﾈｯﾄﾜｰｸ※3	雅び※4
		いきいきｻﾛﾝ（喫茶ｻﾛﾝ含む）	ふれあい食事サービス	地域ﾘﾊﾋﾞﾘ事業（百歳体操含む）	世代間交流	子育て支援こどもの居場所（ｻﾛﾝ）活動※1	その他※2		
1	古　市	6	8	6	2	3	１１	H11	H15
2	高鷲北	2	2	0	0	1	0	H11	H14
3	埴　生	8	6	１５	１０	2	１７	H13	H16
4	埴生南	１０	１１	１０	2	2	2	H12	H16
5	羽曳が丘	5	0	3	4	1	2	H10	H14
6	丹　比	2	1	0	2	1	0	H11	H16
7	駒ヶ谷	１０	0	5	2	2	2	H14	H17
8	古市南	1	1	3	1	1	2	H14	H15
9	西　浦	8	6	5	1	1	0	H13	H18
10	西浦東	1	0	4	5	1	1	H12	H24
11	恵我之荘	4	2	0	4	1	2	H12	H14
12	白　鳥	4	1	5	2	1	1	H12	H15
13	高　鷲	1	6	3	1	1	0	H10	H14
14	高鷲南	7	1	5	1	1	2	H10	H14
合　計		６９	４５	６４	３７	１９	４２	２７６	

※1　古市校区の子育て支援（サロン）活動については民協が実施

※2　その他

各分類以外のもので、清掃活動や夜警、緑化活動などが入ります。

※3　小地域ネットワーク事業

小学校区を単位として高齢者や障がい者（児）、子育て中の親子などが地域で孤立することなく安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合いを推進する活動（設置年度）

※4　ふれあいネット雅び

小地域ネットワーク活動と専門職種・行政が協働し、高齢者等を地域で支えあい関係機関とのネットワークを構築し小地域ネットワーク活動の一層の発展、地域支援体制の拡充、セーフティーネットの確立を目指す活動（設置年度）

・福祉教育の推進

小・中学校及び高等学校の児童・生徒を対象に、ボランティア活動の実践を通じて社会福祉への理解と関心を高めることを目標とし、社会奉仕・社会連帯の精神を養うとともに、家庭及び地域社会の社会福祉活動に対する啓発を図っています。

日付	学校名・学年	派遣団体	内容
令和7年11月17日	高鷲北小学校	点訳サークルひまわり	点字を活用した名刺づくり
令和8年1月30日	羽曳が丘小学校	介護保険事業者連絡協議会	車いす体験

・重層的支援体制整備事業

重層的支援体制整備事業は、従来の高齢、障害、こども、生活困窮等の分野別支援では十分に対応できなかった複雑化・複合化した課題に対し、包括的な支援体制を整備することを目的として令和7年度から実施しています。属性を問わない包括的な相談支援や、課題を抱えた人が地域とつながるための参加支援、総合的な地域づくりに向けた支援を実施しました。

１．多機関協働事業

⑴会議の開催

①担当者会議

関係機関から提出された相談ケースの内容を精査し、多機関協働事業（重層的支援会議・支援会議）として対応を検討するための会議等を開催した。

②支援会議

本人の同意がない場合でも、会議の構成員に対する守秘義務を設け、関係機関がそれぞれ把握しているものの、支援が届かない個々の事案の情報を共有し、支援の方向性を協議し、役割分担を明確化する。また、地域における必要な支援体制の検討を円滑に進めるための会議を開催した。

③重層的支援会議

関係機関との情報共有にかかる本人の同意を得たケースに関して、そのケースのプランを共有し、適切性を協議する会議として開催した。

⑵ 重層的支援体制整備事業移行準備事業多機関協働事業における重層コーディネーター対応件数

内　容	件　数（回数）
相談（延べ）	２４（回）
相談（実人数）	２１（人）
担当者会議	１４（回）
受付申込	１９（人）
支援会議	１（回）
重層的支援会議	６（回）

⑶ 多機関協働事業における連携強化を図るため各専門機関への啓発活動と連携

【連携会議】

・重層実務者調整会議　・　ブランチ会議　・　CSW連絡会　・　福祉施設連絡会

・要保護児童対策協議会　・校区福祉委員会連絡会　・　ふれあいネット雅び運営会議

【連携機関】

・生活福祉課　・　障害福祉課　・　地域包括支援課　・　こども家庭支援課

・こども政策課　・　健康増進課　・　環境保全課　・　建築指導課　・　道路公園課

・建築住宅課

・コミュニティソーシャルワーカー　・　障害者基幹相談支援センター

・中・西・東圏域地域包括支援センター・生活困窮者自立相談支援機関
・学校教育課　・　小中学校
・高齢・障害等事業所　・　大阪府ひきこもり地域支援センター
・大阪府下市町村社会福祉協議会　・民生委員児童委員　・　校区福祉委員会
・ボランティア団体

【会議等への参加】　　３１回

２．地域づくり事業

世代や属性を超えて住民同士が交流できる多様な場や居場所づくりに取り組み、交流・参加・学びの機会を生み出すことで、地域活動の活性化を図った。

事業名	事業実績
まち歩き ＆ 古民家くらぶ	［日時］令和７年11月８日（土）14:00～16:30 ［集合］羽曳野市社会福祉協議会 西部事務所 ［行先］重要文化財（旧国宝）吉村家住宅 ［事業対象者］7名　［スタッフ］5名　［ボランティア］1名 ［内容］社会的孤立者や就労支援対象者、ひきこもりの方を対象にした、外出機会の提供と地域交流を目的とするまち歩き・見学型の支援企画。西部事務所から吉村家住宅まで歩き、道中の景観を楽しみながら参加者同士の自然な会話を促す。現地ではガイド付き見学を通じて地域の歴史や文化に触れ、その後の帰路でも交流を深めることで、社会参加へのきっかけづくりや対人コミュニケーションの促進を図る内容で実施した。
折り紙くらぶ	［日時］令和７年11月12日（火）13:00～15:00 ［場所］羽曳野市社会福祉協議会西部事務所 ［事業対象者］4名　［スタッフ］6名　［ボランティア］6名 ［一般参加者］16名 ［内容］折り紙体験を実施。講師の折り紙ボランティアの指導のもと、各テーブルで体験を行った。参加者は楽しみ目的のほか、地域活動への活用を意識するなど多様な目的で参加。一般参加者と事業参加者が同じ空間で交流し、会話や協力を通じて打ち解ける場面が多く見られ、満足度の高い交流の機会となった。
絵手紙くらぶ	［日時］令和８年１月14日（水）13:00～15:00 ［場所］羽曳野市社会福祉協議会西部事務所 ［事業対象者］５名　［スタッフ］５名　［ボランティア］８名 ［一般参加者］12名 ［内容］西部事務所で絵手紙体験を実施。ボランティアグループこころの講師の指導のもと各テーブルで体験し、一般参加者は交流や趣味を目的に賑やかな雰囲気となった。事業参加者もボランティアや他参加者と会話する機会が生まれ、交流の場として有意義であった。
お野菜くらぶ	［日時］令和８年２月10日（火）13:00～15:00 ［場所］羽曳野市社会福祉協議会西部事務所

	［事業対象者］5名 ［スタッフ］5名 ［ボランティア］2名 ［一般参加者］約25名 ［内容］当日道の駅で野菜を仕入れ、西部事務所で販売を実施。地域ボランティア2名が販売を担い、同日開催の地域カフェ参加者や飛び入り来場者も購入し、野菜は完売した。事業参加者も地域カフェに参加し野菜の購入もする。参加者からは好評で継続希望の声が多く、今後は就労体験や買い物支援、ボランティア参画の機会として発展させるとともに、事業対象者の主体的な取組みも促進していきたい。

２．参加支援事業

ＣＳＷが孤立しがちな人や生きづらさを抱えている人のニーズや強みを把握し、地域の社会資源と結びつけながら多様な社会とのつながりをつくった。

事業名	事業実績
おさんぽくらぶ	［日時］令和8年3月30日（月）13:30～16:30 ［集合］羽曳野市社会福祉協議会 西部事務所 ［行先］誉田八幡宮・道明寺天満宮 ［事業対象者］7名 ［スタッフ］8名 ［ボランティア］2名 ［内容］社会的孤立者や就労支援対象者、ひきこもりの方を対象にした、外出機会の提供と社会参加を目的とするウォーキング企画。羽曳野市役所から誉田八幡宮経由し、道明寺天満宮まで歩き、道中の景観を楽しみながら参加者同士の自然な会話を促す。桜の時期に開催し、お花見も楽しみながら歩くことができた。帰路でも交流を深めることで、社会参加へのきっかけづくりや対人コミュニケーションの促進を図る内容で実施した。

・コミュニティソーシャルワーカー（CSW）事業

地域にお住まいの個人、家族から相談を受ける個別支援活動と、集団、組織を支援する地域支援活動という２本を柱に活動しています。個別支援活動から見えてきた課題を地域支援活動に活かし、また地域支援活動が個別支援活動に活かされるような循環システムを目指し取り組んでいます。

令和７年度からは、中エリアのＣＳＷが１名増員され、中エリア２名・西エリア２名・東エリア２名、計６名のＣＳＷが配置されました。社会福祉協議会では、中エリアに１名、西エリアに１名・東エリアに１名、計３名を配置し、地域に密着した相談支援を実施しました。

◎ＣＳＷ介入の必要性

・制度の利用は可能であるが、本人が支援を拒否される場合、ゆるやかな見守り体制を構築していく必要のある事例。
・家族の中で複合的な課題を抱えている場合、障害・高齢・児童それぞれの制度につないでいく必要のある事例。
・民生児童委員が地域で発見し把握された相談の中で、専門職支援が必要のある事例。
・なんらかの理由で家から外出することができなくなった「ひきこもり」と呼ばれる方々が、社会参加するための支援。

◎ＣＳＷ介入の成果

・複合的な生活課題を抱えられている方からの相談をワンストップで受け、関係機関につなげ、スムーズな支援につなげることができる。

◎最近多くなっている相談

・「家族の問題」としてずっと潜在化しており、問題が顕在化した時には、生活が立ち行かなくなってしまっている事例（５０代ひきこもりの子・８０代高齢親）
・養育困難、ゴミ屋敷等、犬・猫・イタチ等の小動物の問題

・子育て不安、介護負担など「ちょっとした相談」をする人がいなくて、抱え込んでいる事例
・地域の１００歳体操やカフェなどの行き場所がないという高齢者からの相談、ご近所トラブルなど

① 地域支援活動　　(単位:回)

内　　容	中エリア(埴生)	東エリア(古市･白鳥･西浦)	西エリア(高鷲･恵我之荘)	合計
第４期羽曳野市地域福祉計画の推進、第５期地域福祉活動計画の策定 他機関との協働 第５期地域福祉活動計画推進委員会、ふれあいネット雅び運営会議、羽曳野市地域福祉ネットワーク交流会、教育福祉連絡会、羽曳野市地域自立支援推進会議、要保護児童対策協議会、市ＣＳＷ連絡会、福祉施設連絡会、中河内・南河内ＣＳＷブロック会議、重層的支援体制整備事業関係会議、エリア・ブランチ会議、大阪しあわせネットワーク・スマイルサポーター連絡会･ひきこもり支援事例検討会･校長会･就労準備事業･サポステ・生活困窮地域ネットワーク会議・地域福祉コーディネータースキルアップ研修・ＳＳＷ連絡会・キャラバンメイト等各連絡会・勉強会・IBU 特別講義、介護予防強化推進事業戦略会議、発達障害者地域支援力向上会議・重層参加支援事業	４６	５９	４９	１５６
住民懇談会の開催 第５期地域福祉活動計画住民懇談会・校区懇談会・子育てサロン、高齢者見守りサポート事業、ふれあいネット雅び地域福祉推進チーム会議・小地域ネットワーク会議・校区福祉委員会連絡会	１３	１７	１７	４３
要援護者の組織化支援 介護者家族の会・高次脳機能障がい当事者の会、家族の会の取組み支援 ことばのリハビリ広場（失語症当事者会） 社協 WEST（就労準備・ひきこもり支援）・EAST 企画会議	２	８	２２	１８
地域住民などを対象とする研修会の開催 ふれあいネット雅び地域福祉推進チーム（ヤングケアラー・移動支援・認知症サポーター養成講座等）、高鷲健康講座、高鷲南健康講座	１	２	３	７
災害時要援護者支援ネットワーク構築事業 羽曳野市災害時要援護者支援制度説明会の実施 災害時要援護者を支える地域づくり	４	３	２	７
地域拠点へのアウトリーチ（出張相談） ふれあい喫茶「あいあい」、巡回型ふれあい喫茶「すずらん」、各ふれあいまつり、コミュニティひろば、軽里食事会・軽里茶話会、喫茶なごみ、翠鳥園北ほっとタイム、翠鳥園北輪投げ、西浦いきいきサロン、カフェさんさん、喫茶ひだまり、１００歳体操、ふるなん輪投げ教室、駒ヶ谷サロン、壺井町会サロン、大黒いきいきサロン、飛鳥サロン、喫茶サロン「いしかわ」等への訪問相談・移動販売車停留所での相談受付、民生委員定例会、校区福祉委員会会議、健康教室、子育てサロン、フードパントリー、区長会、子ども食堂、古市府営すこやか会、高齢者見守りサポート事業、ほのぼのクラブ、西向野クールオアシス、高鷲ふれあいフェスティバル、恵我之荘もちつき大会、ミートプラザ高鷲アンケート、恵我之荘ぜんざい祭り、JA 高鷲朝市	６９	５４	７０	１６４

②個別支援活動

（単位：件）

相談内容別	中エリア(埴生)	東エリア(古市・白鳥・西浦)	西エリア(高鷲・恵我之荘)	合計
	件数	件数	件数	件数
福祉制度・サービスに関する相談	８７	５０	９１	２５８
生活に関する身近な相談	８４	５８	９１	２２０
健康・医療に関する相談	４０	６０	４５	１２３
生活費に関する相談	２９	１７	３２	５６
就労に関する相談	１０	１	７	２１
多重債務に関する相談	０	０	３	７
消費者被害に関する相談	０	０	０	０
財産管理・権利擁護に関する相談	３	４	３	８
住宅に関する相談	１７	１０	８	３１
子育て世帯に関する相談	９	２	２	１７
DV･虐待に関する相談	３	７	１	６
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	８	１０	１８	５４
災害時要援護者に関する相談	４	８	８	５２
ひきこもり	７	９	１２	３４
フードバンク	３	０	２	５
その他	５	０	７	２９
合　　計	３０９	２３６	３３０	８６９

（単位：件）

相談対象者別	中エリア(埴生)	東エリア(古市・白鳥・西浦)	西エリア(高鷲･恵我之荘)	合　　計
	件数	件数	件数	件数
高齢者	３８	５８	５３	１４８
障がい者	４２	６	３９	５２
子育て中の親子	９	６	４	４
一人親家庭の親子	１	２	０	４
青少年	１	１	０	０
ＤＶ被害者	３	１	０	６
生活困窮者	２４	３	１３	１４
ひきこもり	８	７	１３	２２
ボランティア	１	０	０	３
ヤングケアラー	５	０	５	０
外国籍	０	０	０	２
その他（一般）	１０	４５	１０	１１６
合　　計	１４２	１２９	１３７	３８９

※一度に複数の相談事項があるため、合計とは一致しません。

・高齢者見守りサポート事業

小学校区ごとの民生委員児童委員協議会が主催し、校区内の高齢者を対象にした「見守り活動」や「居場所づくり」を行うことにより、外出の機会を増やし、ひきこもりの防止とフレイルや認知症の予防など健康の維持・増進に寄与することを目的とした事業を令和６年度より開始しました。校区ごとの特色により、“茶話会”“配食”“弁当持ち帰り”“会食会”“個別訪問”などの様々な形態で実施しています。

校　　区	事業形態	回数	参加人数
古市	茶話会	10	416
古市南	茶話会・弁当持ち帰り	3	172
白鳥	茶話会・友愛訪問	3	331
駒ヶ谷	配食	3	158
西浦	配食	3	229
西浦東	弁当持ち帰り	3	204
埴生	弁当持ち帰り	3	312
埴生南	弁当持ち帰り・個別訪問	2	363
羽曳が丘	個別訪問	1	1,500
丹比	弁当持ち帰り・喫茶	3	227
高鷲	弁当持ち帰り	3	142
高鷲北	会食会	4	188
高鷲南	弁当持ち帰り	3	165
恵我之荘	弁当持ち帰り(イートイン有)	3	163

計 47 回開催　　延べ参加人数 4,570 人

※個別訪問活動を開始された校区があるため、延べ参加人数が増加しています。

・避難行動要支援者支援ネットワーク構築事業

災害の際に何らかの理由で逃げ遅れる危険性が高い方が、制度へ登録申込みをして、校区福祉委員会や町会・民生委員児童委員など支援してくれる団体にあらかじめ状況を把握しておいてもらうことで、災害時の被害を少しでも少なくしようという制度です。平常時からの地域の見守り、支えあいの輪がいっそう広がりました。

避難行動要支援者

①身体障がい者手帳（１級、２級）の交付を受けている方、視覚障害の方聴覚障害の方
②療育手帳（療育A）の交付を受けている方
③精神障がい者保健福祉手帳（１級）の交付を受けている方
④障がい者手帳をお持ちでお一人暮らしの方
⑤要介護度３以上の方
⑥６５歳以上のお一人暮らし、７５才以上のみの世帯
⑦昼間のみ⑥の状態になる方
⑧特定疾患、小児慢性特定疾患医療助成認定を受けている難病患者の方
⑨その他災害時の避難に支援が必要な方

校区ごとの対象人数（同意あり）　　（単位：人）

古　市	高鷲北	埴　生	埴生南	羽曳が丘	丹　比	駒ヶ谷	古市南
２９８	１４９	２４７	３４４	３１１	３３１	７１	３８６

西　浦	西浦東	恵我之荘	白　鳥	高　鷲	高鷲南	合　　計
２２９	１１４	１５７	１２６	２４２	２６０	3,２６５

・子育て支援・サロン活動事業

校区福祉委員会による小地域ネットワーク活動が展開され、民生委員を中心に地域での子育て支援として「子育てサロン」活動が全校区で行われています。

核家族化による孤立予防や、子育ての不安や悩みを一人で抱え込まないよう、子育て世代をサポートすることを目的として各校区福祉委員会や民生委員児童委員協議会で、それぞれ独自のふれあいの場を提供しています。

校区ごとの参加人数は下記のとおり。

（単位：人）

たかなん	ふるいち	はになん	はにふ	たかわし	たかきた	えがのしょう	いしかわ
１４６	３２６	１８５	４７	２１３	２５５	９１	１３３

はくちょう	ふるなん	はびきがおか	にしうら	たんぴ	こまがたに	合　計
１３１	６０	２４６	１７３	４１	５０	２，０９７

■　生活支援活動

・福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

大阪府社会福祉協議会権利擁護推進室からの委託事業で、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより毎日の暮らしに必要なことの判断や意思表示を自分自身で適切に行うのが困難な方を対象に、生活支援や金銭管理などをお手伝いする事業です。

相談者	一般相談 件　数	サービス提供のための活動件数	新規契約 件　数	解約件数	年　度　末 実利用者数
認知症高齢者	２８８件	４５０件	３件	０件	１２人
知的障がい者	２９８件	５３９件	１件	１件	１４人
精神障がい者	５５５件	１，３８２件	２件	０件	２８人
その他	１６件	０件	０件	０件	０人
合計	１，１５７件	２，３７１件	６件	１件	５４人

専門員・生活支援員参加の研修会等

大阪府社会福祉協議会主催の各種会議・研修会に参加

・生活困窮者自立支援事業

だれもが生活困窮に陥るかもしれない恐れがある社会の中、生活困窮のさまざまな原因に対し、専門の支援員が相談に応じ支援計画を策定し、その方にあった自立に向けて支援を行います。

（単位：件）

相談受付	件数
新規相談受付件数（本人同意なしを含む）	２７２
支援決定・作成プラン件数(再プランを含む)	２９

相談内容別	件数
病気や健康、障害のこと	５３
住まいについて	３５
収入・生活費のこと	１１３
家賃やローンの支払いのこと	６８
税金や公共料金の支払いについて	５１
債務について	７３
仕事探し、就職について	５８
仕事上の不安やトラブル	１７
地域との関係について	3
家族関係・人間関係	４０
子育てのこと	１９
介護のこと	１２
ひきこもり・不登校	１１
ＤＶ・虐待	6
食べるものがない	１２
その他	１４

※一度に複数の相談事項があるため、受付件数等とは一致しません。

・生活福祉資金貸付事業

低所得世帯や高齢者、障がいのある方など、生活上の課題を抱える世帯に対し、安心して暮らしを立て直せるよう、必要な資金を貸し付けました。

【貸付状況】

区　　分	電話相談	窓口相談	貸付決定件数	貸付決定額
福祉資金	４３件	７５件	３６件	7,５８１千円
教育支援資金	３３件	２８件	１９件	１３,３３４千円
総合支援資金	０件	1件	０件	０千円
不動産担保型生活資金 （要保護含む）	０件	8件	０件	０千円
緊急小口資金	３４件	３３件	7件	６４９千円
臨時特例つなぎ資金	０件	０件	０件	０円

・特例貸付フォローアップ支援事業

令和２年３月～令和４年９月の期間、新型コロナウィルス感染拡大の影響により、収入の減少・失業した方がおられる世帯を対象に特例貸付事業を実施しました。令和５年１月より段階的に返済開始。返済が困難な借受人へ「フォローアップ支援」として、返済免除や猶予の申請支援、生活相談に関する対応を行いました。

令和７年度　対応実績

	来所	電話	訪問	郵送
償還免除・償還完了者への支援	５３件	２９件	１５件	０件
償還・免除に関する手続きに未応答の借受人への支援	６５件	４４３件	１０件	６１件

償還免除に至らないものの償還が困難な借受人への支援	７８件	２８５件	３３件	9件
償還中・猶予中の借受人への支援	２０６件	７０５件	2件	2件

■ ボランティア活動の促進

・ボランティア活動の振興

・ボランティアセンターの運営

ボランティアグループの活動活性化を図るため、ボランティアセンターの効率的な管理・運営に努めました。

ボランティアセンター利用日数　　２４８日

・ボランティア保険の加入

安心してボランティア活動ができるようボランティア保険への加入を促進し、ボランティア活動の振興に努めました。

	活動保険	行事保険	非営利・有償	全社協送迎	合計
団体数	２９５件	２４５件	4件	2件	５４６件
人数	１，１５９人	２４，８３３人	１５人	７７４人	２６，７８１人

・需給調整事業

ボランティア活動に対する需要と供給のバランスを調整し、ボランティア活動の裾野を広げ市民のボランティア活動に対する認識と理解を深めることに努めました。

(単位：件)

個人	団体	福祉施設	行政機関	その他	合計
６５	４４	４３	7	３９	１９７

・ボランティア育成事業内容

地域住民のボランティアに対する意識を高め、地域福祉への参画を促しています。

講座名	日程・場所	内　　容
ボランティア・市民活動 わくわく講座 バルーンアートボランティア 養成講座	令和7年7月１日・7月１６日・7月２３日 市役所別館２階研修室・市役所別館３階会議室・エコプラザはにふ	バルーンアートの制作を通してボランティア活動の啓発を目的として実施した。バルーンアートボランティアは、誰でも気軽に参加できる内容となっており、ボランティア活動への関心を高めるきっかけづくりとなった。
ボランティア・市民活動 わくわく講座 絵手紙ボランティア養成講座	令和7年6月１０日・6月１３日・6月１８日 市役所別館２階研修室・エコプラザはにふ・古市ひまわり園	絵手紙の制作を通してボランティア活動の啓発を目的として実施した。絵手紙ボランティアは、誰でも気軽に参加できる内容となっており、ボランティア活動への関心を高めるとともに、新規ボランティアの獲得にもつながった。

ボランティア体験プログラム	令和7年7月1日～9月30日 グループホームみやび・あそか西松庵・悠々亭・ベビーハウス社協・あおぞらこども園・デイサービスほっとキッズNEXT・ぶどうのいえ・笑みりぃ～羽曳野・リリット・ぱすてる・ライフサポートぐっぴい・ラーメンあったか・ひまわり園・羽曳野市社会福祉協議会ボランティアセンター	大阪府社会福祉協議会との共催事業として毎年開催されているプログラム。子どもから社会人、高齢者などにボランティア活動参加の機会を提供している。特にボランティア活動を体験したいけれど忙しい学生が夏休みの期間を利用してボランティア体験をする機会となっており、ボランティア団体や施設などに受入れを依頼し、実施した。高校生や親子での参加がみられた。
小学生ボランティアスクール	令和7年8月1日 別館2階研修室	小学生一人ひとりがボランティア体験を通して、人を思いやる気持ちの大切さである「福祉の心」を育むとともに、ボランティア活動のきっかけづくりを目的として開催した。当日は、羽曳野市による認知症サポーター養成講座をはじめ、折り紙ボランティアグループ「桃」による折り紙作成、実際にボランティア活動をされている方の話を聞く機会を設け、ボランティア活動への理解を深める機会になった。
傾聴ボランティア養成講座	令和7年6月5日・6月12日・6月17日 市役所別館2階研修室 グループホームみやび エコプラザはにふ	施設や在宅の高齢者の方にゆっくり寄り添ってお話を聴き、気持ちを受け止める傾聴ボランティアを養成するために開催した。
ボランティア・市民活動 わくわく講座 歌声ボランティア養成講座	令和7年9月10日・9月17日・9月24日 エコプラザはにふ・恵花院	昔の歌を歌い利用者に寄り添うことを通したボランティア活動者を増やす目的で実施。男女問わず歌うことが好きな人は誰でも参加できる内容になっている。
災害ボランティア養成講座	令和7年8月2日 別館2階研修室	羽曳野防災・災害ボランティアチーム「ブランバード」が主催となり、災害ボランティアセンターについての説明をし、羽曳野市で災害が起きた際に活躍していただける災害ボランティアの育成を目的に実施した。
朗読ボランティア 河南ブロック代表者会議	令和8年3月16日 羽曳野市社協　主催	今年度は、羽曳野市社協が幹事市となり、各市町村の交流・情報交換のため毎年開催しており、例年幹事市へ出向いて録音技術や朗読スキルアップ、会員募集、リスナーの拡大などテーマを決めて、現状報告・情報交換などの交流を行った。

・ボランティア連絡会の育成・支援

ボランティア連絡会との連携を強化しながら、地域住民、若年層からのボランティアに関する理解と関心を高めるため、組織的なボランティア活動の振興に努めました。

ボランティア連絡会総会	令和７年５月 30 日　市役所別館２階会議室
定例幹事会	毎月第２水曜日
その他主な活動 大阪府市町村ボランティア連絡会臨時役員会 大阪・関西万博 2025　共創チャレンジ　打合せ 大阪府市町村社協ボランティア連絡会総会 第２回大阪府市町村ボランティア連絡会役員会 市民体育祭 市民活動フェスタ２０２５ 大阪・関西万博 2025　共創チャレンジ 小学生ボランティアスクール 羽曳野市ボランティア連絡会　講演会 大阪府社会福祉大会 会員研修 河南ブロック交流会 はびふじ RUN フェスタ 大阪府市町村ボランティア連絡会代表者会議 大阪府市町村ボランティア連絡会テーマ別研修会	 令和７年４月 11 日　オンライン（zoom） 令和７年５月 13 日　オンライン（zoom） 令和７年５月 21 日　大阪府社会福祉指導センター 令和７年５月 21 日　大阪社会福祉指導センター 令和７年６月１日　羽曳野市中央スポーツ公園 令和７年６月８日　エコプラザはにふ 令和７年７月 24 日　万博 令和７年８月１日　羽曳野市役所別館 令和７年９月２６日　羽曳野市役所別館３階 令和７年１１月２６日　大阪国際交流センター 令和７年１２月８日　関西国際空港　他 令和７年 12 月 12 日　八尾市文化会館プリズムホール 令和７年１２月１４日　石川河川敷周辺 令和８年２月９日　大阪府社会福祉会館 令和８年２月９日　大阪府社会福祉会館

・災害ボランティアセンター事業

地域住民の災害ボランティアに対する意識を高めるために災害ボランティア養成講座や情報交換会を企画し、災害ボランティアへの参画を促しています。

昨年度に引き続き、災害ボランティアセンター設置時に使用する備品を整備しました。

災害ボランティアセンター設置時に協力できる体制作りに向けて、羽曳野防災・災害ボランティアチーム「ブランバード」と連携し、講座を実施しました。

羽曳野防災・災害ボランティアチーム「ブランバード」勉強会（定例会）	毎月第４金曜日	災害ボランティアセンターが設置される際に社協とともに運営に携わるための知識や技術を得るために設立された「ブランバード」の定例会に参加し、平時から情報交換やブランバードとの共催で災害ボランティアに関する講座を企画・実施した。
３市合同災害ボランティア担当者会議・連絡会議	４月１０日 ５月２日 ６月６日 ７月１１日 ８月８日 ９月５日 １０月１７日 １２月５日 令和８年 １月９日 ２月６日 ３月１９日	柏原市・羽曳野市・藤井寺市の３社協合同で災害ボランティアセンターについての情報交換を行い、災害ボランティアセンターの運営体験プログラムの企画について話し合った。令和７年度は羽曳野市が幹事市となり議事進行や意見のとりまとめを行った。
３市合同災害ボランティア養成講座	９月１６日	羽曳野市役所別館３階会議室にて実施。 災害ボランティアの説明や運営支援者の話、マッチングシミュレーションカードゲームを行ったほか、羽曳野防災・災害ボランティアチーム「ブランバード」による講話を実施した。
３市合同災害ボランティアセンター運営シミュレーション	１０月２８日	令和７年度は羽曳野市が幹事市のため、実際に災害が発生した際に羽曳野市で災害ボランティアセンターが立ち上がる LIC はびきのにて運営シミュレーションを実施した。災害ボランティアセンターについての説明の後、各班の説明をし、実際の運営の流れを体験した。
はびきの防災クエスト	１１月８日	羽曳野市中央スポーツ公園にて開催され、羽曳野防災・災害ボランティアチーム「ブランバード」とともに、アシスト瓦づくりとごみ袋でカッパづくりを体験するブースを出展した。
大阪災害支援活動連携会議ブロック別情報交換会	１１月２７日	官民連携による災害対策の先進的な取り組みに関する講義を受けた後、各市町村の取組状況について情報交換を行うブロック別の情報交換会に参加した。
大阪府災害ボランティアセンター運営シミュレーション	1 月 28 日	「ICT を活用した災害ボランティアセンターの運営と府内社協間での情報共有について」をテーマに ICT ツールを活用した被災地支援についての講義を受けた後、キントーンを活用した災害ボランティアセンターの運営と社協間の情報共有についてのデモンストレーションを行った。
災害ボランティアコーディネーター研修会	２月４日	「災害ボランティアコーディネーターの役割と災害支援」をテーマに、令和６年能登半島地震で被災した志賀町災害ボランティアセンターの実践を基に、ボランティアの意義や活動時の重要な視点について学び、府内で発災した際に自分たちに何ができるかを考える機会として開催された会議に参加した。

・きらきらシニアプロジェクト介護支援サポーター事業

このプロジェクトは羽曳野市社会福祉協議会が羽曳野市から委託を受けて平成２７年７月１日から始まった介護予防事業のひとつです。

市内の介護保険施設などで介護支援サポーター活動（ボランティア）を行うことに対してポイントを付与し、たまったポイントを換金できる「介護支援ボランティアポイント制度」です。高齢者の方が介護支援サポーター活動を通して社会参加、地域貢献をすることで、ご自身がより元気にいきいき生活することを目的としています。

○きらプロ講習会内容

活動の開始前に講習会を開催

きらきらシニアプロジェクト はじめて講座 （場所：市役所別館２階研修室１・2、ボランティアセンター）	５回開催 計　　人参加	令和７年５月２２日・７月１５日・９月１１日・１１月２０日・令和８年１月２９日

※サポーター登録申請後、はじめて講座を受講していただくことが活動の前提となります。

○サポーター（ボランティア）登録者数　３９４人

○市が指定した市内の介護保険施設などにおける介護支援サポーター活動を対象としている。

介護支援サポーター活動の再開を目的にサポーター受入登録施設の受入状況や依頼したい活動内容をまとめた資料を作成。サポーター活動の拡大に向けて周知活動を行った。

○サポーター受入登録施設　７０施設

きらきらシニアプロジェクト介護支援サポーター事業にご賛同いただいた高齢者施設を登録している。

活動先を増やす為、サポーター受入未登録の施設にアプローチして登録施設を増やした。

○スキルアップ講習会

きらきらシニアプロジェクト介護支援サポーターが普段の活動の際に必要なスキルを身につけ、自身の介護予防に役立てながらサポーター活動を充実させることができた。

令和７年１０月２３日開催　参加者数２１人

■　実習生受入

社会福祉士国家試験受験資格の取得対象等の実習生の受入を行い、様々な社会福祉活動の実習を通じ、社会福祉関係者の人材育成を図りました。

・看護学部生活支援実習

大学名	人数	実習期間	実習時間
大阪公立大学	2 人	令和7 年8 月8 日～9 月25 日のうち8 日間	8 日

・社会福祉援助技術実習

大学名	人数	実習期間	実習時間
四天王寺大学	1 人	令和7 年6 月2 日～7 月3 日	24 日間

・社会福祉相談援助演習特別授業

大学名	人数	内　容	場　所	派遣人数
四天王寺大学	３９人	羽曳野市社会福祉協議会の事業と役割	四天王寺大学	2 名

■ 在宅福祉活動

・居宅介護支援事業

要介護者等からの相談に応じ、居宅サービス又は施設サービスを適切に利用できるよう、サービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービスの提供が確保されるようサービス事業者、介護保険施設との連絡調整等を行いました。

・新規介護相談件数 ・・・９５件

・要介護認定利用者〔年度末現在の居宅介護支援者数〕 （単位：人）

	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
利用者数	３９	３５	１３	6	8	１０１
内７年度新規	２５	１１	8	2	3	４９

・要支援認定利用者〔年度末現在の居宅介護支援者数〕 （単位：人）

	要支援１	要支援２	事業対象者	計
利用者数	２５	２４	1	５０
内７年度新規	１０	8	0	１８

・羽曳野市要介護認定訪問調査委託事業

羽曳野市より依頼を受け、要介護認定の訪問調査を行いました。

(調査件数) ５７件 (生活保護法介護扶助) １件

・ホームヘルプサービス事業

高齢または身体上の障がいのため、日常生活を営むのに支障がある高齢者世帯、または身体障がい者世帯に対してホームヘルパーを派遣し、在宅福祉の向上に努めました。

ホームヘルプサービス利用状況（年度末現在利用者数） (単位:人)

利用者数		事業対象者	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	障がい	総合計
介護保険	総合事業	1	１３	１４							２８
	訪問介護				１０	5	0	4	1		２０
障がい	居宅介護									１３	１３
	重度訪問介護									0	0
合計		1	１３	１４	１０	5	0	4	1	１３	６１

・福祉（介護）機器の貸出・斡旋

介護家族の負担軽減を図るため車イスの貸出を実施するとともに、各種介護用品の斡旋を実施しました。

【車イスの貸出】

月別利用状況　（単位：件）

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出件数	４５	４７	４０	５２	４６	５９	５４	２７	３１	２７	４１	４４	５１３

【斡旋】

紙オムツ・トレーニングパンツ・肌着（寝巻）・ポータブル便器等介護者のニーズの高い介護用品について、随時斡旋を実施しました。

・羽曳野市介護保険事業者連絡協議会との連携

総会	令和７年6月１９日（木） 対面及びZOOMでの開催 令和６年度事業報告及び令和７年度事業計画について提案
総会特別講演	令和７年6月１９日（木） 大塚製薬より『フレイルについて』 『VR認知症体験』 ～認知症の人の気持ちや行動を知る～
各部会	居宅部会　6回　在宅部会　7回　施設部会　4回　地域密着部会　8回　小規模多機能部会　4回
法人案内ホームページでの活用	通所早見表の作成及び更新

その他

医療と介護の連携研修会、フードパントリーへの協力等

・地域と福祉サービスをつなぐネットワーク会議（福祉施設連絡会）

総会	令和７年4月２４日（木）１３時３０分～１５時 羽曳野市役所別館２階　研修室 〇研修会 ・「羽曳野市福祉指導監査課よりお知らせ」羽曳野市福祉指導監査課 ・「柏原市民間社会福祉施設連絡会の取り組み」 講師：社会福祉法人　柏原市社会福祉協議会　地域福祉係 主任　福島　位智子　氏
研修会	令和８年3月９日（月）１３時３０分～１５時３０分 ＬＩＣはびきの　視聴覚室 ・「日本人にも使える　やさしい日本語」 講師：一般社団法人　チームやさしい日本語　福田　一也　氏
役員会	令和７年7月１７日、9月１８日、１２月１７日 令和８年1月１５日、3月１９日
担当者会議	令和７年7月１７日、9月１８日、１２月１７日 令和８年1月１５日

施設見学会	○令和７年１２月１７日（水）午後１時３０分～午後３時 社会福祉法人ふたかみ福祉会　はばたきアネックス ○令和８年１月１５日（木）午後１時３０分～午後３時 社会福祉法人羽曳野荘
法人案内ホームページでの活用	○令和７年１０月２０日（月）１５時～１７時 羽曳野市役所別館２階　ボランティアセンター会議室 ・ホームページリニューアル会議 「ホームページを活用した法人紹介について」 ○会議の内容について、役員会で承認後に会員に向けてヒアリングシートとカテゴリ分けを依頼し、リニューアル実現に向けて調整を図った。
行政との連携及び要望	○羽曳野市福祉指導監査課　研修を通じて情報提供（４月２４日） ○社会福祉施設への物価高騰対策ならびに処遇改善に関する緊急要望を提出（１２月１７日）

・介護者家族の会の育成と支援

介護者家族の会との連携強化を図るため、定例の役員会に担当者が参加するなど関係を密にし、積極的に育成・支援を行っています。

日時	事業内容	場所	参加者
4 月 16 日（水）	役員会	ボランティアセンター	5 名
5 月 16 日（金）	総会	羽曳野市役所 別館 3 階会議室	18 人
5 月 28 日（水）	役員会	ボランティアセンター	5 人
6 月 25 日（水）	つどい（茶話会）	西部事務所 あいあいハウス	13 人
7 月 2 日（水）	役員会	ボランティアセンター	5 名
9 月 22（月）	施設研修会	羽曳野西圏域・中圏域・東圏域地域包括支援センター	16 名
10 月 1 日（水）	役員会	西部事務所 あいあいハウス	5 人
11 月 6 日（木）	リフレッシュ事業	和歌山（和歌山城・他）	15 人
11 月 10 日（水）	役員会	西部事務所 あいあいハウス	5 名
11 月 27 日（水）	役員会	ボランティアセンター	5 名
12 月 10 日（水）	つどい（生演奏による合唱）	西部事務所 あいあいハウス	12 人
12 月 10 日（水）	役員会	西部事務所 あいあいハウス	5 人
1 月 28 日（水）	役員会	西部事務所 あいあいハウス	5 人
2 月 18 日（水）	役員会	ボランティアセンター	4 人
3 月 6 日（金）	公開講演会	（株）愛安住。（株）フロンティアによる介護用品体験講座	8 人
3 月 18 日（水）	役員会	西部事務所 あいあいハウス	4 人

■ 各種募金活動等の推進

・日本赤十字社事業

日本赤十字社では、博愛と奉仕の精神に基づき自然災害・紛争・発展途上国の開発協力等の国際活動や福祉活動をはじめ、災害救護・救急医療体制の整備・献血運動などの国内活動等を行っていますがこの事業を支える活動資金運動に積極的に取り組みました。

【赤十字活動資金実績】

地　区　名	実　績　額	地　区　名	実　績　額
古市地区	４４８，９００円	西浦地区	８３７，０５０円
高鷲地区	７８２，１００円	丹比地区	１８２，４００円
埴生地区	４１１，８５０円	羽曳が丘地区	６３９，３５０円
駒ケ谷地区	３７１，０００円	大阪支部扱い	１，５５５，６０４円
合　　計			５，１８８，２５４円

・共同募金運動事業

共同募金運動を通じて市民の全てが福祉に参加し、社会福祉についての市民の理解と認識を深める「福祉のこころ」を培うとともに、社会福祉事業に必要な財源を確保するため共同募金運動に取り組みました。

【募金会理事会】:　令和７年８月２６日（市長会議室）

【街頭募金活動】:　令和７年１０月８日　市内主要駅３か所と市内店舗６か所で実施。

【共同募金実績額】

戸別(町会)	法　人	学　校	街　頭	職　域	その他	バッジ	実績額
2,361,019 円	84,673 円	223,927 円	86,990 円	23,714 円	14,540 円	482,500 円	3,277,363 円

(町会別実績額)

地　区　名	実　績　額	地　区　名	実　績　額
古市地区	４６２，３００円	丹比地区	１４２，６７５円
高鷲地区	５８９，０４４円	西浦地区	３０３，６５０円
埴生地区	３２０，４５０円	駒ケ谷地区	１３６，７００円
羽曳が丘地区	４０６，２００円		
合　　計		２，３６１，０１９円	

【歳末たすけあい運動募金実績額】

（町会別実績額）

地　区　名	実　績　額	地　区　名	実　績　額
古市地区	４５７，７００円	丹比地区	１６２，８７５円
高鷲地区	５６０，８４０円	西浦地区	２５６，９５０円
埴生地区	３５７，４５０円	駒ケ谷地区	１２２，８００円
羽曳が丘地区	３４６，３５０円	事務局扱い	４９０，５３５円
合　　計			２，７５５，５００円

※ 配分委員会　令和７年 11 月 18 日（羽曳野市役所　別館２階研修室）

配分内容

校区福祉員会推進費、子育てサロン運営費、児童養護施設お年玉、サンタクロース訪問（児童養護施設等に会長参加）　他

・献血推進事業

献血思想の普及並びにその推進を図ることを目的として、献血推進事業に取り組みました。

・献血推進協議会の運営

大阪府赤十字血液センターと連携を図り事業の活性化に努めました。

・啓発活動

市広報紙、社協だより及びホームページに献血日程を掲載し、献血実績の向上を図りました。
街頭啓発活動を実施し、献血思想の普及・向上を図りました。
羽曳野ライオンズクラブ、羽曳野ロータリークラブと共催開催を実施し多くの協力をいただきました。
愛の血液助け合い運動及び大阪府献血推進月間では、庁内及等において献血キャンペーン用のポケットティッシュ及び絆創膏を配付しました。

【献血実績】

受付人数	採血合計	200ｍｌ採血	400ｍｌ採血
１，０１０人	８７４人	４０人	８３４人

・義援金救援金受付及び被災地支援活動

・義援金・救援金の受付（社協受付分（累計額）　　全額　日本赤十字社大阪府支部に送金）

令和６年能登半島地震災害義援金	令和８年３月末現在	７，４１５，３６４円
令和６年能登半島大雨災害義援金	令和８年３月末現在	７６８，６８６円
ウクライナ人道危機救援金	令和８年３月末現在	２８６，３９７円
大船渡市赤崎町林野火災義援金	令和７年６月末終了	２１２，７８０円
２０２５ミャンマー地震救援金	令和７年６月末終了	１０，０００円
大分市佐賀関の大規模火災義援金	令和７年 12 月末終了	５００円

■　職員研修会

・人権研修

全職員を対象に動画配信などによる人権研修会及個人情報取り扱いについて研修会を開催
羽曳野市企業人権連絡会主催の研修会に参加

■ 保育園の運営

あおぞらこども園

月別園児数　　(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	142	144	144	147	146	143	146	147	147	147	147	147	1,747

※認可定員：１３５人

保育内容

入園、進級おめでとうの会・家庭訪問・検便(年１回)・検尿検査(年２回)・嘱託医よる健康診断(年２回)歯科検診(年１回)・園外保育(年８回)・親子ふれあいサロン(年２回)・懇談会(年２回)・個人懇談・げんきフェスタ・にっこりガーデン・プール遊び・七夕まつり・すいか割り・サマーフェスタ・YuZu らんど・防災教室・敬老の日の集い・クリーン活動・芋掘り味覚狩り・おもちつき・クリスマスパーティー・お正月あそび・節分・交通安全教室・ハッピーフェスタ・お別れバス遠足・遠足・おもいでありがとうの会・卒園おめでとうの会・食育ランチルーム・三園交流(古市幼稚園・誉田保育園)・ベビーハウス社協との交流（職員・園児)・南大阪民間保育園連盟主催(大運動会・サッカー大会)・小学校中学校校庭あそび・図書館体験・身体測定、避難訓練、お誕生日会(毎月１回)

延長保育

【朝の延長：７時～７時半】　　(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	43	40	42	33	14	38	42	39	37	49	58	57	492

【夕方の延長：１８時半～１９時】　　(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	43	37	50	57	46	48	51	38	48	41	50	41	550

特別教室の実施

・英会話教室(ECC)
・ダンス教室
　※　3歳児より導入

子育て支援事業

・育児相談(開園中常時)
・園庭開放(年11回)
・子育て支援自主事業
　(年18回　地域の親子と保育教諭が交流の場を持ち子育て支援を行う)

地域交流

・ひだまりスポット(園庭開放)　年11回
・にっこりガーデン　5月
・サマーフェスタ　7月
・すいか割り　7月
・防災教室(地域の親子参加)　11月
・おもちつき会(地域の親子参加)　12月

・クリスマス会(地域の親子参加)　12 月
・お正月遊び(地域の親子参加)　 1 月
・交通安全教室(地域の親子参加)　2 月
・園児の祖父農園(芋掘り)　10 月
・中川さんの農園(芋掘り)　10 月
・教育実習生受け入れ　 8 月 1 人　1 月 2 人　2 月 4 人　計 7 人
・ボランティア受け入れ　 7 月 5 人
・誉田中学校職業体験　 10 月 4 人

職員研修

・スマイルサポーター研修　1 人(5/29・6/27・7/17・7/25・8/29・9/10・9/16・10/)
　　1 人(5/29・6/20・7/17・7/30・8/29・9/10・9/16・10/2)
・所長・園長・主任・次期リーダーコース　1 人 (6/13・7/9・8/8・9/16)
・障害共生　1 人 (6/3)
・音楽遊び　1 人 (6/10)
・乳児保育専門リーダー　1 人(6/17・7/10・8/18・9/9)
・給食研修会総会・講演会　1 人(6/30)
・乳児保育　1 人(7/3)
・健康・安全研修　1 人(7/17)
・0 歳からの性教育　1 人(7/23)
・幼児教育の意義と発達　1 人(8/1)
・乳児保育　1 人(8/4)
・子どもへの健康教育　1 人(8/7)
・障害を理解　1 人(8/12)
・関わりに悩む保護者への理解と支援　1 人(8/22)
・メンタルヘルス　1 人(8/29)
・食品衛生講習会　1 人(9/2)
・不適切保育　1 人(9/11)
・園庭作り　2 人(10/17)
・子どもを尊重した保育　1 人(10/27)
・保育士を元気にする研修　1 人(11/5・11/17)
・愛着と発達の課題のある親子支援　1 人(11/10)
・絵本の世界　1 人(11/26)
・関係性を大切にした幼児教育　1 人(11/29)
・食中毒と最近の傾向　1 人(2/24)
・偏食との向き合い方とアドバイス方法　1 人(3/9)
・社会人としての心構え、マナー　1 人(3/12)
・キャリアアップ研修(乳児保育)　1 人(5 月オンライン) 4 人(8 月オンライン) 1 人(10 月オンライン)
・キャリアアップ研修(幼児保育)　1 人(7/11・8/1・9/4・10/2) 4 人(10 月オンライン)
・キャリアアップ研修(障がい児保育)　1 人(5 月オンライン) 1 人(7/7・8/12・9/3・11/4)
　　2 人(11 月オンライン) 1 人(12 月オンライン)
・キャリアアップ研修 (食育アレルギー)　 1 人(5 月オンライン)1 人(8 月オンライン)
・キャリアアップ研修(保護者支援)　 1 人(5 月オンライン) 1 人(10 月オンライン) 4 人(1 月オンライン)
・人権研修　34 人(動画配信による研修)

ベビーハウス社協

月別園児数　　（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	120	118	121	122	123	123	124	125	125	125	125	125	1,489

※認可定員：１２０人

保育内容

入園進級式、個人懇談(年２回)、幼児遠足（春・秋)、フリー参観（年２回)、 ダンス（3・4・5歳児ー年30回)、ECC（3歳児ー年15回（10月～)、4・5歳児ー年30回)、四天王寺大学短期大学部保育科交流（2歳児)、
大運会（5歳児)、七夕、プール活動（3～5歳児)、スペシャルサマーデー（5歳児)、にっこりキッズキャラバン(2～5歳児)、運動会（3～5歳児)、あおぞら保育園と交流（5歳児)、高鷲南幼稚園と交流(5歳児)、小学校校庭遊び、クッキー作り（3～5歳児)、カレー作り(5歳児)、クリスマス会、交通安全教室（2～5歳児)、節分、お別れ遠足（5歳児)、ひなまつり、ゆめっこの会、卒園式
検便・尿検査（年１回)、内科検診(年２回)、歯科検診（年１回)、
※毎月１回お誕生日会、避難訓練、身体測定

延長保育

【朝の延長：７時～７時半】　　（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	73	64	64	71	64	67	75	64	55	56	59	68	780

【夕方の延長：１８時半～１９時】　　（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	40	28	25	35	26	21	39	30	23	36	28	29	360

一時保育

７時～20時

月別園児数　　（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
羽曳野市内の園児数	165	156	174	221	164	221	242	205	224	227	216	233	2,448
他市町村の園児数	4	11	15	16	3	4	0	0	2	2	0	0	57

子育て支援事業

・園庭開放（ベビっこひろば）（年８回）
・子育てサロン（年８回）：たかなんサロンへの保育士派遣
・育児等相談

地域貢献支援事業

・訪問（1回）

地域交流

・IBU 四天王寺大学短期大学部保育科造形授業（２回生）　５名　7/1
・高鷲南小学校２年生「まちたんけん学習」　１１名　10/29
・高鷲南中学校１年生「地域学習」　６名　11/20
・教育実習生の受け入れ　計５名

関西女子短期大学	保育科	１名	２年 7/28～8/7
関西女子短期大学	保育科	１名	２年 1/28～2/7
		１名	２年 1/28～2/10

職員研修

保育士研修

・保育士の「基本のキ」ひとり５分で書こう！　3名（4/10）
　～伝わる・繋がる連絡帳の書き方～
・危機管理危機対応研修　33名(4/25・5/2・5/9・5/27・6/6)
・より良い保育士・保育教諭としての基礎を学ぶ　1名（5/12・5/30・6/13・11/26）
　＋人権研修
・初級クラスサービスマナーセミナー　1名（5/19・5/21）
・障がい児保育専門ゼミナール　1名（5/26・6/23・7/29・9/29）

・保育現場における事故防止　2名（5/29）
　～ヒヤリハットを今後に生かす～
・一人ひとりを大事にする幼児のクラスづくりコース　1名（6/6・8/29・9/12）
・保育士研修（災害時の乳児支援）　1名（6/10）
・子どもの心は大人と育つ　2名（6/12）
　～幸せな子どもはくっついて育つ～
・子どもも大人も幸せで居心地のよい園をつくるには！　1名（6/13）
・乳児保育専門ゼミナール　1名（6/17・7/10・8/18・9/9）
・新任コース　1名（6/25・9/10・11/28）

・救急蘇生ＤＶＤによる研修　34名（6/18・21・24・27）
・中堅保育士としての実践向上　1名（7/1・11・18・24）
・感染症・食中毒予防対策講習会（動画視聴型）　5名(7/7)
・事故防止研修　1名（7/22・23）
・キャリアアップ研修（マネジメント）（e ラーニング）　1名（9/1～・11/9）
・不審者対応　2名（9/8）
・不適切保育防止　2名（9/11）
・「描く楽しさ、伝える喜びを育てる」描画活動　2名（9/18）
・障がい児保育研修会　2名（9/30）

・非認知能力の根っこ「アタッチメント」
　～意義と保育者の役割～（ＤＶＤ研修）　16 名（9/4・5・8・10・12・17）

・幼児の主体性・非認知能力を育てる保育実践（ＤＶＤ研修）　16 名（9/18・19・24・26・29・10/1）

・「虐待等不適切保育」の防止・改善を通して保育の質
　を高めよう～自治体・園が取り組むべきこととは？～　2 名（10/6）

・子どもの脳を傷つけない関わり～保育者としてできること～　6 名（10/7・8）

・愛着形成を大切に
　～子どもを理解し、一人ひとりに寄り添った支援を～　2 名（10/27）

・キャリアアップ研修（障がい児保育）　1 名（12/13～・1/18）

・エピペン講習　1 名（1/7）

・“発達”と“愛着”の視点から、子どもの心を育む課題を考える　1 名（1/30）

・「伝わりやすい日本語」　1 名（3/9）

・人権研修　31 名（動画配信による研修）